

意見募集

行革・子育て支援・食育に意見・提言を

提出先・問い合わせ

子ども課 子育て支援係 (☎ 92-8268、FAX 92-8385、Eメール kodomo@city.soja.okayama.jp)
 総務課 行政係 (☎ 92-8218、FAX 92-9479、Eメール soumu@city.soja.okayama.jp)
 住所 〒719-1192 中央二丁目一番一号



「子育て王国そうじゃ」まちづくり協議会は1月19日、子育て支援の指針となる「総社市次世代育成支援行動計画「総社っ子プラン」と食育の指針となる「総社市こども食育推進計画」の答申書を市長に手渡した

「第2次総社市行政改革大綱・総社市定員適正化計画」や「総社市次世代育成支援行動計画」「総社っ子プラン」(後期計画)、「総社市こども食育推進計画」を、より良い計画にするため、市民の皆さんから意見・提案を広く募集(パブリックコメント)します。

素案は、市のホームページや担当窓口、各支所・出張所で閲覧することができます。
意見の提出方法 郵送かフアクシミリ、Eメールのいずれかで、住所、氏名、意見(意見の対象となる部分が分かるように章や節、ページも記入)、連絡先(内容確認のため

のもの)を書いて提出
 ※様式は任意。住所、氏名、連絡先は必ず記入
 ※電話、口頭での意見は受け付けません
意見の取り扱い 個別の回答はしません。いただいた意見を整理し、市の考え方をホームページなどで公表します

■総社市行政改革大綱・総社市定員適正化計画

行財政全般の見直しを行おうと平成18年3月に策定した「行政改革大綱・定員適正化計画」を引き継ぎ、今後の行政改革の指針を示したものです。大綱に基づき、経費節減や簡素で迅速な事務処理、民間活力の活用など平成22年度から26年度までに取り組む42の項目を設定。目標数値とともに具体的な取り組みを示しています。

閲覧・意見提出期間

3月8日(月)から19日(金)まで

【担当:総務課】

■次世代育成支援行動計画「総社っ子プラン」(後期計画)

10か年計画の後期部分の平成22年度から26年度までの計画で、子育て支援の方向性や目標を定めるものです。

子どもに関する相談のワンストップサービス体制の構築や、家庭のきずなを深めることや、産官学民が一体となった子育て支援のまちづくり、多文化共生への取り組みなどを重点プロジェクトに掲げています。

閲覧・意見提出期限

3月12日(金)(必着)

【担当:こども課】

■こども食育推進計画

平成22年度から26年度までが計画期間で、行政や学校、家庭、地域などが食育で取り組む指針を示すものです。子どもの食育を通じて、大人の食育にも取り組むこととしています。

「感謝」「楽しむ」「食欲」「食べる力」の4つをキーワードにし食育を進め、食文化の継承、地域の特性を生かし市民協働の食育の推進などの方向性を示しています。

閲覧・意見提出期限

3月12日(金)(必着)

【担当:こども課】

消防

火の元には、十分な注意を

問い合わせ 消防本部予防課 (☎ 92-8343)

3月1日(月)から7日(日)まで
 「消えるまで ゆっくり火の元 ならめっ子」
 春季全国火災予防運動



住宅用火災警報器 [天井に設置したイメージ]。寝室や階段の天井への設置を

3月1日(月)から7日(日)までは、春季全国火災予防運動が展開されます。これからの季節は、一年で最も空気が乾燥し、火災の起こりやすい状態になります。火の取り扱いには十分注意をしてください。お出かけ前や就寝前には、今一度火の元の確認を行ない

ましょう。家の周りに燃えやすいものを置かないなど放火対策も行ってください。最近、火事のニュースをよく目にします。全国で住宅火災による死者数が昨年は1000人を超えています。万一のときのために、住宅用火災警報器を設置してください。

平成21年の火災・救急・救助の概要

■火災 件数は32件。前年比で2件の減少。15件が建物火災でした。また、「たき火」など人の不注意で起きる火災が多く発生しています。火の取り扱いになお一層の注意をお願いします。

■救急 出動件数は2390件。前年比で66件の増で、1日当たり平均6.5回の出動。搬送人員は2281人で、65歳以上の方が54.2%と全体の半数以上を占めています。

約6割が急病による出動で、以下、交通事故、負傷などです。ドクターヘリの出動要請は21件でした。

昨年4月にスタートした夜間急病診療には、月平均約120人の利用がありました。なお、救急車の適正な利用にも、ご協力をお願いします。

■救助 出動件数は70件で、全体の約6割の46件が交通事故によるもの。活動件数は31件で、救助人員は33人でした。

■支援出動 件数は192件。6割以上が救急隊の活動の側面支援でした。

■油流出処理 油流出処理のための出動件数は30件。多くは交通事故によるものです。

問い合わせ 消防署 (☎ 92-8346)

AEDと心肺蘇生法の受講を!

大切な命を救うためには、早い通報や現場にいる人によるAEDの使用を含めた心肺蘇生法などの応急手当が重要です。

開催中 毎月第3日曜日 9:30~11:30 消防本部

希望があれば、出向いて講習もしています。消防署に日時や場所、人数などをお知らせください。※日程を調整させていただく場合があります。

申込先・問い合わせ 消防署救急係 (☎ 92-8346)

